

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No.	1460	(H.28)No.	1460
-----------	------	-----------	------

事務事業名	空家対策事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	営繕住宅室	鷲阪 文宣	

会計区分	事業コード	422701
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	空家対策事業	
項 住宅費	(小事業名)	
目 住宅総務費	空家対策事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	5 快適な生活環境づくり
	施 策	1 住宅・住環境
重点プロジェクト	2.若者定住促進プロジェクト	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
若者等が安心して住み、子育てができる住環境の創出と、地域コミュニティの活性化、まちづくり活動の促進を図ることを目的とします。
事業内容
空家等の積極的な活用と危険な空家等の除却を行なうなど、空家等がもたらす問題に総合的に対応していきます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	空家等実態調査実施(1466棟) 空家コーディネート業務委託 空き家バンクの創設 子育て世帯リフォーム費用助成(0件) 空家等の適正管理の促進 特定空家等の認定・指導(2件)	空家等対策計画に基づく空家等の活用促進及び適正管理
	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
	空家等対策計画に基づく空家等の活用促進及び適正管理	空家等対策計画に基づく空家等の活用促進及び適正管理
	H.32年度(事業計画)	
	空家等対策計画に基づく空家等の活用促進及び適正管理	空家等対策計画に基づく空家等の活用促進及び適正管理

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		2,367千円		16,952千円	16,952千円	16,952千円	16,952千円
内 国・県支出金		0		0	0	0	0
内 地方債							
内 その他(諸収入等)		0		14,000	14,000	14,000	14,000
内 一般財源	0	2,367	0	2,952	2,952	2,952	2,952
人 職員		1.90人		1.95人	1.95人	1.95人	1.95人
人 臨時職員等		0.80人		0.80人	0.80人	0.80人	0.80人
②概算人件費	0千円	15,610千円	0千円	15,985千円	15,985千円	15,985千円	15,985千円
①+②総事業費	0千円	17,977千円	0千円	32,937千円	32,937千円	32,937千円	32,937千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度(取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など))
空家等対策計画に基づき、空き家バンクの創設や子育て世帯に対する中古住宅等リノベーション支援事業を実施することにより空家等の利活用の促進に取り組むとともに、管理不全の空家等に対しては、条例に基づく対応だけでなく、特措法に基づく特定空家等に2件認定して指導を行いました。
また、名張市古住宅流通促進協議会と連携して空き家のコーディネート業務を行うとともに、関係団体から選出いただいた委員による空家等対策推進協議会において協議いただき空家等対策に取り組めました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】	継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	空家等対策計画に基づき、空家等の活用促進及び適正管理の促進を行っていきます。適正管理に関しては、特に危険度の高い空き家の所有者に対しては特措法に基づく行政代執行も視野に入れた厳しい態度で挑みます。また、活用促進に関しては、空き家等利活用促進地域の会議に参加して地域・民間事業者等と協力して若年層の移住・定住に繋がる取組を検討・実施します。さらに、リノベーション補助件数を増加させるため、住宅金融支援機構と連携してローンの金利優遇施策にも取り組みます。	
6. 事務事業の取組に関する市の計画	名張市空家等対策計画	